

日本館の展示・運営等のあり方について

博覧会推進室

平成29年12月

目次

1. 本日まで議論いただきたい点
2. 検討に際しての視点・留意点

1. 本日も議論いただきたい点

- 日本館の出展に当たって、以下の各構成要素に関して、特に留意すべき点は何か。

論点① 展示のあり方

(例：いかに「心に残る体験」を提供するかを最重要視すべきではないか。)

論点② 建築のあり方

(例：展示とのバランスをよく考えつつ、機能性を重視すべきではないか。)

論点③ 行催事のあり方

(例：イベントスペースを設け、自治体等広く参加を募るべきではないか。)

論点④ 運営のあり方

(例：待ち列対策をどのように講じるべきか。)

論点⑤ 広報のあり方

(例：アイデアの公募、現地でのイベント、SNSの活用など、多様な取組を行うべきではないか。)

論点⑥ V I Pルームのあり方

(例：日本企業の技術展示など、戦略的活用を考えるべきではないか。)

論点⑦ レストラン等商業スペースのあり方

(例：宗教上の配慮をしつつ、本格的な和食を提供することは必須ではないか。)

2. 検討に際しての視点

● 過去博における経験を踏まえて

- ⇒ 過去博における成功事例はどのような点か。逆に、改善の余地がある点はどこか。
また、新たに取り組むべきことはあるか。（例：子ども向けのメッセージ）

● ドバイ博の特殊性を踏まえて

- ⇒ ドバイ博の特殊性を踏まえて、取り組むべきことはあるか。
（例：暑さ対策、宗教上の留意点への対応、VIPルームの戦略的活用）

● 2025年国際博覧会を見据えて

- ⇒ 2025年国際博覧会を見据えて、取り組むことはあるか。
（例：共創プログラム、待ち時間ゼロの実現、VR参加）